

外語会「英国ツアー」

江上 茂 (E昭31)

東京外語会文化委員会主催の海外ツアーは、
ことしで5回目を迎えた。

第1回が台湾(95.11)、第2回はタイ(96.11)、
第3回が北京(97.10)、第4回インドネシア(98.
10)、そして今回がイギリス(99.4)である。

年1回、秋というのが慣例だが、「秋のイギ
リスは淋しすぎる」というロンドン外語会乾会
長の意見を入れて春に変更されたのである。

99年4月16～23日の英国ツアーには、相馬壽
美乃団長(文化委員長・F39)をはじめ、喜寿を
迎えて超元気印の椎木治男氏(E昭19)や古茶兵
衛外語会副理事長(R昭25)ら大先輩を含め、14
名が参加した。

大阪外語会からは磯田良一東京支部長(イン
ドネシア語昭和31年)が娘さんと一緒に参加し
た。磯田氏が参加するとその都度(タイとイン
ドネシア)東外大と大外大の支部合同パーティー
が実現している。

今回、ロンドン・メイフェア地区フレミング
ズ・ホテルで開かれたジョイントパーティーに
は、私たちのほか、東外大OB12人、大外大
OB9人、合わせて33人が参加、にぎやかなひと
ときを持った。

公式のカタイ話はこの位にして、以下私ごと
を交え、旅の感想を述べさせていただく。

私は10年以上前、2年連続で「ロンドンマラ
ソン」のテレビ生中継を担当、BBC映像に日
本向け素材を加えて放送する仕事をしてきた。
グリニッチからバッキンガム宮殿までロンドン
の名所をめぐるコースを下見する仕事は実に楽
しかった。

ことしは4月18日(日)が大会だった。参加者
がなんと3万1500人、2時間7分台の好記録が
出たが、日本の有力選手が参加しなかったため、
日本の新聞では、ごく小さな扱いに終わった。こ

□文化委員会から

○第5回海外ツアー(支部連絡委・メンバーシ
ップ委と共催)

数年前からのTUF.S.UK乾会長(C昭35)
の、「アジアばかりでなく英国にもどうぞ」と
いうお誘いを大喜びでお受けして、4月16～23
日に実施しました。思い出深い旅の様子は江上
茂さん(E昭31)がフォーラム欄65頁に書いて
下さっています。乾会長はじめ原田豊副会長
(S昭40)、土屋創幹事(I平1)には訪問時期
の選定から、交歓会、ゴルフ、etc., etc.,大変
お世話になりました。温かく迎えていただき今
度も海外ツアーを大成功で終えることができま
した。ありがとうございます。

としもテレビ東京が中継した。

旅行参加を利用して、私は前日の練習風景や当日のBBC放送をかい間みたのだが、ロンドンの街並みは、10年前、いや30年前と比べほとんど変わらず、懐かしさがこみ上げてきた。

さて、今回のツアーは、ロンドンとエジンバラが主舞台、両都市の往復は鉄道を利用した。「新幹線」で4時間ほどの旅は楽しく、あっという間だった。

4月の気温はどちらも8度前後で寒かったが、グリーン・グラスに羊の群れ、花の命が長い八重桜、黄色いヒースの花の風景はほんとにすばらしかった。

エジンバラはこの世のものとは思われない位美しい落ち着いた町だった。また来たい。

主力部隊はローモンド湖地方を旅したが、ゴルフ組4人は、ゴルフ発祥の地、セント・アンドリュース新コースに挑んだ。

前々日、ヒースロー空港に近いバキングムシャーGCでの親善ゴルフは快晴に恵まれたが、この日は20メートルを越すミゾレ混じりの暴風雨「ストロング・ゲイル」が襲いかかってきた。

手がカジかんでボールを持ってない。私は5番ホールで早々とリタイアした。ロンドンで好成績の長老小林重文氏(E昭20)も激しい風雨にやがて脱落。石原隆良(D昭31)、今西昌幸(R昭34)の両氏だけが、5ホールスキップしたにせよ、かろうじて「完走」した。

ことしの「全英オープンゴルフ」最終日は雨と寒さで“異様”な結末に終わったが、スコットランドの自然は全くあなどれない。



ロンドンで大外大と合同パーティー